

おくすりの飲ませ方

『良薬は口に苦し』という言葉に耳にされたお母さんも多いかと思いますが、お薬をつくる技術が進歩したおかげで、とても飲みやすくなってきました。それでも、お子様の場合には薬をのませるのに苦労している方も見えると思います。

赤ちゃんの場合

赤ちゃんですと、スポイトを使って水薬を飲ませたり、粉薬なら少しの水で練って、綺麗に洗った指先で「あ〜ん」と声をかけ、優しくほほの内側少し奥に塗って、水を飲ませる方法が良く使われると思います。薬の名前に「ドライシロップ」と付く粉薬は、水に溶かすことができます。



食べ物に混ぜる場合

食べ物に混ぜる場合は、アイスクリームやチョコクリームに混ぜれば比較的飲みやすくなると言われていますが、混ぜる物には、注意が必要です。例えばスポーツドリンクやオレンジジュースなどの飲み物に溶かすと、苦味が強調されてしまうお薬もありますし、ヨーグルトで苦くなるお薬もあります。

また、赤ちゃんに飲ませる時に、いつも飲んでいるミルク（ほ乳びん）に混ぜると味が変わり、ミルクそのものを嫌がるようになってしまうことがあります。混ぜても良い食べ物など、是非薬剤師に聞いてください。



優しい言葉は、特効薬！

お子様にお薬を飲ませる際には、嫌な思いをさせない工夫が大切ですが、いつも食べている美味しい食べ物ではありません。のむ前に、「少し苦いかも知れないけれど、病気を治すためだから頑張って飲もうね。」と声をかけてあげると、意外と平気!という声もたくさん聞きます。

優しい言葉も、とても大切な方法ですね。

がんばって
飲もうね

